

高倉昔ばなし芝居台本集

高倉郷土芸能保存会

まえがき

田代甲平

高倉に伝えられている数々の「昔ばなし」は、いずれも一口ばなしの短いもので、元の話の前後に創作のものを付け足し、登場する人物名も当時の各々實在名を乗せ、場所名等も、古文書から引用し、近代までの高倉の「だんべえ」言葉の生活の姿を再現し、30分間程度にまとめて脚色し、毎年新作を発表している。

昭和30年頃までは、120世帯位の高倉の世帯数であったものが、50年間で個人住宅、集合住宅共約1,000、合計2,000以上と云う驚異の移入世帯の急増加である。高倉の「だんべえ」言葉のご人も年々減少し、そののんびりと暖かい会話の姿も貴重になってしまつて淋しい。当芝居を通して、それらを伝えて行く事を目的として続けている。

本芝居は私等の子供の頃より見たもので、私の父等も狭い山車の上で「どうけ芝居」を云つて「いざり勝五郎」等、お座敷芝居等を演じ、明治大正生まれの佐市、藤吉、芳雄の各名手も居て、祭りばやしの人気演目であった。

現芝居は、当初は面をつけての芝居であったがここ数年は、メイクも面白く、熱心な練習の成果の為、役になりきり、それぞれアドリブのせりふ廻しが楽しく、のりのりの上演で、観客にうけている。

平成十八年三月吉日

高倉郷土芸能保存会

役 柄	氏 名	役 柄	氏 名
会長	山畑 仙吉	曲師 搬出入	西澤 正行
芸能部長 班長	田代 甲平	搬出入	西澤 嘉幸
踊師 会計	西澤 要作	合図進行	西澤 透
監査 班長	山畑 吉司		西澤 保生
会計 班長	中谷 昇	搬出入	西澤 照正
若頭 監査 班長	西澤 洋一郎		佐藤 敏章
曲師	田代 浩嗣		窪 幸美
踊師	中野 好男		田代 健司
外交 書紀	西澤 章		吉澤 鉄夫